

東京都中学校英語スピーキングテスト事業検討委員会（第1回）会議要旨

1 日時 令和2年8月28日（金）午後3時から午後5時まで

2 会場 都庁第二本庁舎10階210・211会議室

3 欠席者 宇田委員長、浜田委員

4 協議内容（意見要旨）

（1）本事業の在り方

- ・ なし

（2）本事業の検証・検討事項

（令和3年度確認プレテスト②の実施会場について）

- ・ 感染拡大防止の観点から、他校と同一の外部会場で実施する場合、他校の生徒との接触がないよう配慮が必要である。

（令和4年度以降スピーキングテストの実施会場について）

- ・ 区部と多摩地域では外部施設の状況は異なるので、地域の実情に応じて対応を変えてもよい。
- ・ 同一の区市町村内において、会場が中学校だったり外部会場だったりの違いが生じないことが望ましい。
- ・ 会場については、検討を行った平成30年度以前と現在とでは議論の前提や社会状況が異なるため、柔軟に検討する必要がある。

（機器について）

- ・ 機器トラブルをゼロにすることは難しいという前提で、対応を準備するべきである。
- ・ 機器に起因する不具合でなくとも、受験者が故障していると勘違いをする場合もあるため、その場合の対応を考えておく必要がある。

（不受験者への対応について）

- ・ テストの申込み締切り後に都内へ転居するケース等の対応も、検討する必要がある。

（「話すこと」の練習機会の確保）

- ・ 受験者全員がタブレット端末を円滑に使用できるようにするため、例えば、機器の使用方法についての動画の公開や、練習する端末の貸出しなどを行ってほしい。

（その他）

- ・ 中学生が安心して受験できる環境を整えるよう、試験監督者がテスト実施に係る説明や指示を明確に分かりやすく行うだけでなく、採点についても公正を期す必要がある。
- ・ 都立高校附属中学校・中等教育学校生徒に対する受験機会の提供について検討する必要がある。

（3）「令和2年度 確認プレテスト①」における検証内容の確認

- ・ 学習指導要領の改訂の趣旨を踏まえて、問題構成を検討する必要がある。
- ・ ウェブサイトでの個人申込みにおける学校の関わり方を、明確にする必要がある。
- ・ 想定している申込みの時期は、生徒・保護者が具体的な志望校を定める前であるということや、インターネット環境がない家庭もあることを踏まえて検討する必要がある。

（4）新型コロナウイルス感染症対策

- ・ 試験会場での手指消毒を、確実に実施する必要がある。
- ・ マスクを着用したままでも解答音声の録音に支障がないことを伝えるなど、マスクを着用させるための明確な指示が必要である。
- ・ ウィルス等への感染が判明した際の自宅待機期間などを踏まえて、予備日の設定時期を検討する必要がある。

（5）テスト結果の提示

- ・ 評価ごとの解答例を、受験者に示したほうがよい。
- ・ 学校には、結果だけではなく、正答・誤答の分析など指導の改善に資する情報を提供する必要がある。